

単元 1 十代のみんな、思春期へGO!

授業-5

自分を知る、仲間を知る(2)

※授業4・5・6は一連の「自己紹介シリーズ」なので、各授業の間隔をあげすぎないようにする。

この授業では

- クラス全員が順番に前の時間2人組になった相手に代わって、その人の自己紹介をする。この授業を通して、お互いの興味や好みをたくさん紹介し合い、クラスの仲間と親しく交流し、クラス全員のことをいろいろ知ることができるようになる。

ねらい

- クラスの仲間に見られる共通点と「その人らしさ」(特徴)を探る。

今日の言葉

- 好きな人が多いのは、多くの人から好かれている人です。

教材と準備

- ワークシート「インタビュー用紙」(単元1授業4で使用・宿題)
- 発表の工夫としてあるとよい物(お立ち台・王冠・たすきなど主役がわかるもの)
- インタビューをもとに作成した自分の相手の紹介文(できればこれを作成させておくと発表がスムーズにできる。)

生徒は・・・

- クラスメイトの個性を挙げる。
- クラスメイトに共通している性質を確認する。

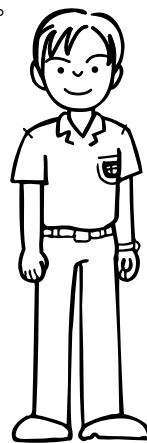
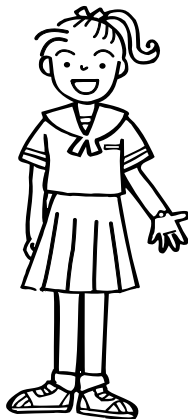
板書計画

ねらい クラスの仲間に見られる共通点や、「その人らしさ」(特徴)を探ろう。

今日の言葉 好きな人が多いのは、多くの人から好かれている人です。

「仲間のことをもっと知ろう」

彼の名前は山田太郎です。北海道生まれでスキーが得意です。今、一番興味があることは・・・



低い台

流れ	学習内容	教材教具 ※留意点
導入 〈3分〉	<p>質問 「今日の言葉」をどのように受け止めるか。</p> <p>説明 本時では前時で2人1組になった相手を紹介する。それはクラス全員がお互いをよりよく知り合う機会となる。</p>	<p>※「ねらい」と「今日の言葉」を板書／提示。</p>
情報とスキル 〈4分〉	<p>1. 家族や大人の興味や好みを発表</p> <p>質問 宿題の家族へのインタビューでは、大人の趣味や好みはクラスの仲間と違っていたか。</p> <p>指示 家族へインタビューした結果を紹介する。</p>	<p>前時の宿題</p> <p>※クラスの人数が40名近い場合は、省略してもよい。</p> <p>※父母や大人に共通する興味や好みがあったら、どうしてよく似たのかを質問する。</p>
練習 〈30分〉	<p>1. 前回の2人1組の相手の紹介</p> <p>指示 自分の相手をクラスに紹介する。</p> <p>説明 指導者が手本を見せる。</p> <p>例 「彼の名前は、〇〇 〇〇です。～～」 名前、誕生日、インタビュー用紙にあることなど。(30秒程度)</p>	<p>ワークシート「インタビュー用紙」(授業4で使用)</p> <p>※インタビューをもとに発表文をまとめさせておくことスムーズに発表できる。</p> <p>※物まねにならないように留意する。</p> <p>※インタビューした内容をもとに、その人らしさを紹介する。</p> <p>※CDプレーヤーなど必要に応じて準備する。</p> <p>※小グループで行ってもよい。</p>
(振り返り)	<p>2. 自分との共通点・「その人らしさ」(特徴)</p> <p>質問 ・このクラスの中で、多くの友達が持っている点はある点か。 ・学校生活を楽しいものにしてほしい私たちの違いにはどのようなものがあったか。それらの違いから何を学べるだろうか。 ・他の人になったつもりで話をするのはどんな感じだったか。 ・共通点や「その人らしさ」(特徴)を見つけることは、自分たちのクラスにとってどのように役立つか。</p>	
応用 〈13分〉	<p>1. ノートへの記入</p> <p>指示 ・クラスの何人かとの共通点を3つ書く。 ・また自分だけの特徴だったことも1つ書く。その特徴は、何か特別なことができること、家族との経験に由来すること、楽しんでやっていることや学んでいることなどに関連しているかもしれない。</p> <p>2. 次時への課題</p> <p>指示 ・自分らしさを表す「自己紹介バッグ」の準備をしてくる。</p> <p>・本時の学習で知った共通する趣味、興味などに関する情報を、雑誌などから収集して、コラージュにしておく。</p>	<p>※中身が見えない袋や箱に入れ、次時の発表まで秘密にする。2～3日前から集め始め、当日忘れることのないようにする。</p> <p>※コラージュは時間があれば学校でやってみる。(授業-6b参照)</p>

単元 1 十代のみんな、思春期へGO!

授業-6a

自分を知る、仲間を知る (3)

※授業4、5、6は一連の「自己紹介シリーズ」なので、各授業の間隔をあげすぎないようにする。
※この授業の代わりに、授業-6bを行ってもよい。

この授業では

- この学習では、前時に引き続きクラスの仲間の特徴や興味について、その共通性や個性を探る。それぞれの生徒の大切なものを、「自己紹介バッグ」による活動を通してお互いに知り合うことによって、支えあい、協力し合うクラスの雰囲気を作られる。

ねらい

- クラスの仲間に見られる共通点と「その人らしさ」(特徴)を探る。

今日の言葉

- みんな違う、みんな同じ。

教材と準備

- 指導者の自己紹介バッグ
- CDプレーヤーやカセットプレーヤー(生徒たちが持ってきた好きな曲や歌を紹介するため)
- 自己紹介バッグ(授業5の宿題)
(中身が見えない袋や箱に入れさせ、当日の発表まで秘密にする。2~3日前から集め始め、当日忘れることのないようにする。)

生徒は・・・

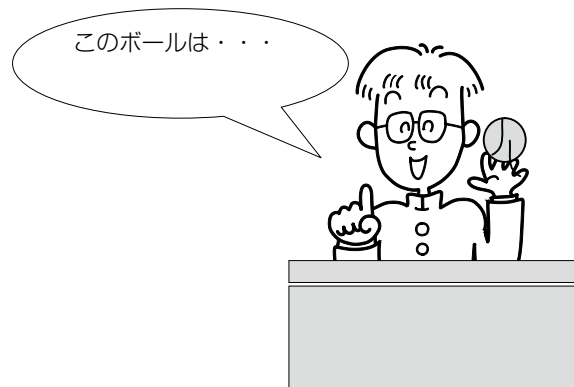
- クラスメイトの個性を挙げる。
- クラスメイトに共通している性質を確認する。

板書計画

ね ら い クラスの仲間に見られる共通点と「その人らしさ」(特徴)を探ろう。

今日の言葉 みんな違う、みんな同じ。

「自分らしさをあらかず物の紹介をしよう」



流れ	学習内容	教材教具 ※留意点
導入 〈5分〉	<p>質問 「今日の言葉」はどのようにこのクラスに関係するか。</p> <p>説明 自分らしさを表す品物による自己紹介をすることによって、お互いの共通点と「その人らしさ」(特徴)を知ることを伝える。</p>	<p>※「ねらい」と「今日の言葉」を板書/提示。</p> <p>※「学級の誇り」を確認させる。</p>
練習 〈35分〉	<p>1. 自己紹介バッグの披露</p> <p>説明 指導者が自己紹介バッグの披露の仕方や説明の手本を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「これは、〇〇です。」 (バッグごと発表の場に持ってきて、みんなの前でバッグをあけて物を出し、高くかかげ、みんなに見えるようにする) 「私は〇〇〇〇〇〇〇。」 (持ってきた品物に関する説明をして、自分らしさを紹介する) (質問がないか聞く。あれば質問に答える) 「これで私の発表を終わります。」(みんなで拍手) <p>指示 順番に自分の自己紹介バッグをあげ、持ってきたものを説明する。紹介時間は1人30秒程度とする。</p> <p>指示 全員の発表の後、自分の発表の際に言いそびれたことや追加したいことがある生徒には発表させる。</p>	<p>※自己紹介バッグの中身は、発表まで秘密とするため、中が見えないようにし、数日前から集め始める。</p> <p>※指導者の自己紹介バッグ</p> <p>※時間や人数の関係で余裕があれば質問の時間をとってよい。</p> <p>※各自の自己紹介バッグ</p> <p>※発表が難しい生徒には、援助する。</p> <p>※発表後はみんなで賞賛の拍手をする。</p>
(振り返り)	<p>質問 ・他の人の発表を聞いて、驚いたことは何か。2人1組で話す。</p> <p>・今日の授業で、クラスの仲間についてわかってきたことは何か。それらについてもっと知るためにはどうすればよいか。</p> <p>・クラスの仲間と、他の同年代の若者たちが似ている点はどんなことか。</p>	<p>※クラスの人たちの共通点や似ている点はどのようなところか考えさせる。</p>
応用 〈10分〉	<p>1. ノートへの記入</p> <p>指示 以下について、ノートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲間が紹介したものを5つ以上書く。 ・発表を聞いて、自分の自己紹介バッグに追加したいものがあつたか。あつたとしたら、それは何か、そしてなぜか書き加える。 ・自分自身について発見したことは何か。 ・自分らしさを表す品物のどんなところが、自分の特徴を示していたか。 <p>2. 次時への課題</p> <p>指示 ・本時に学習したことを家族へ話す。</p> <p>・家族に、自分だったら何を紹介するかたずねる。</p>	